



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月6日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平能 正三
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122
 四半期報告書提出予定日 2020年10月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	66,378	△11.6	△262	—	126	—	△603	—
2020年5月期第1四半期	75,066	△5.4	△437	—	△517	—	△1,649	—

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 △47百万円(—%) 2020年5月期第1四半期 △1,751百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	△19.25	—
2020年5月期第1四半期	△52.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第1四半期	236,896	78,112	31.5
2020年5月期	245,980	78,327	30.5

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 74,728百万円 2020年5月期 74,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	10.00	—	5.00	15.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末の配当予想につきましては、現時点で未定であります。

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日~2021年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	△13.6	300	△89.9	—	—	—	—	—
通期	289,000	△7.9	300	△85.1	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

現時点で入手可能な情報や予測に基づいて売上高及び営業利益の予想を公表いたしました。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は第2四半期決算発表時に公表を予定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年5月期1Q	31,554,629株	2020年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	190,137株	2020年5月期	188,907株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年5月期1Q	31,365,157株	2020年5月期1Q	31,371,073株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦などの通商問題や新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が経済へ影響を及ぼしました。各国での都市封鎖解除後、経済活動が再開され始めましたが、世界経済の回復は緩慢な状況となりました。わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、個人消費、設備投資、住宅投資、輸出など内外の需要が落ち込みました。緊急事態宣言の解除後、経済活動再開の動きが広がり、個人消費や輸出を中心に持ち直しの動きがみられ始めましたが、国内景気は前年同期を下回る水準で推移いたしました。

このような環境下、当社は新型コロナウイルス感染症のリスク対応を図るとともに、将来の市場構造変化に対応する事業ポートフォリオの構築に向け、基本方針を『変革と価値創造～安定かつ成長可能な事業構造へ～』とする2019年5月期から2021年5月期までの中期経営計画に掲げる重点施策「収益改善」「成長事業、グローバルシナジーの拡大」「次なる事業領域の開拓」の展開を進めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高663億78百万円（前年同期比11.6%減）、営業損失2億62百万円（前年同期は営業損失4億37百万円）、経常利益1億26百万円（前年同期は経常損失5億17百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失6億3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失16億49百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

建材事業

建材事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により中断、延期されていた一部の建築物着工が緊急事態宣言解除後に再開され始めたものの、新設住宅着工戸数が減少した影響などにより、売上高410億62百万円（前年同期比9.8%減）となりました。利益については、粗利改善施策、販管費抑制を進めたものの、売上減少などにより、セグメント損失16百万円（前年同期はセグメント利益3億62百万円）となりました。

マテリアル事業

マテリアル事業においては、米中貿易摩擦に加え、新型コロナウイルス感染症による世界経済への影響などを背景としたアルミニウム型材市場の需要減少、アルミ地金市況に連動する売上の減少などにより、売上高78億46百万円（前年同期比23.3%減）となりました。利益については、受注量の減少などにより、セグメント利益2億29百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

商業施設事業

商業施設事業においては、小売業の人手不足を背景とした省人化・省力化需要があったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による新店・改装投資の延期や中止などにより、売上高85億33百万円（前年同期比1.5%減）となりました。利益については、業務効率化による販管費抑制などにより、セグメント利益2億39百万円（前年同期はセグメント損失3億14百万円）となりました。

国際事業

国際事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により欧州・タイにおいて自動車販売台数の減少や輸送機器等の取引先工場が停止したことで、売上高89億5百万円（前年同期比16.0%減）となりました。利益については、費用抑制などの収益改善により、セグメント損失6億62百万円（前年同期はセグメント損失7億75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて90億84百万円減少し、2,368億96百万円となりました。これは、有価証券が13億99百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が56億66百万円、現金及び預金が38億69百万円、電子記録債権が6億8百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて88億69百万円減少し、1,587億83百万円となりました。これは、短期借入金が61億50百万円、長期借入金が30億54百万円、1年内返済予定の長期借入金が12億27百万円、それぞれ増加したものの、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が75億円、支払手形及び買掛金が61億10百万円、未払費用などその他流動負債が51億50百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。なお、純資産は781億12百万円、自己資本比率は31.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大収束時期や影響の程度など、先行きの不透明感が強く、その具体的な影響額を合理的に見積もることが困難であることから未定としておりました。このたび、新型コロナウイルス感染症の影響について、足元で国内外の経済活動が段階的に再開され始めているものの、景気は緩やかな回復ペースにとどまり前年度を下回る水準になるものと見通し、現時点で入手可能な情報や予測に基づいて売上高及び営業利益の予想を公表いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年10月6日）公表いたしました「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,298	21,429
受取手形及び売掛金	43,664	37,997
電子記録債権	4,760	4,151
有価証券	95	1,494
商品及び製品	15,982	15,761
仕掛品	17,977	18,930
原材料及び貯蔵品	11,063	11,138
その他	6,020	5,972
貸倒引当金	△890	△835
流動資産合計	123,971	116,042
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,707	23,461
土地	54,001	54,126
その他(純額)	23,457	23,528
有形固定資産合計	101,166	101,116
無形固定資産		
のれん	2,745	2,518
その他	2,747	2,626
無形固定資産合計	5,492	5,144
投資その他の資産		
投資有価証券	10,346	10,419
その他	5,588	4,760
貸倒引当金	△584	△586
投資その他の資産合計	15,350	14,592
固定資産合計	122,009	120,853
資産合計	245,980	236,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,756	32,646
電子記録債務	17,525	16,383
短期借入金	5,979	12,129
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	7,500	—
1年内返済予定の長期借入金	13,904	15,132
未払法人税等	1,311	383
賞与引当金	403	2,009
引当金	6	25
その他	21,913	16,763
流動負債合計	110,299	98,472
固定負債		
長期借入金	36,272	39,327
役員退職慰労引当金	8	8
製品改修引当金	786	735
退職給付に係る負債	12,067	12,097
資産除去債務	459	461
その他	7,759	7,681
固定負債合計	57,353	60,311
負債合計	167,653	158,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	32,828	32,828
利益剰余金	25,055	24,294
自己株式	△243	△244
株主資本合計	72,640	71,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	370	487
繰延ヘッジ損益	△729	△368
土地再評価差額金	3,835	3,835
為替換算調整勘定	△1,286	△1,337
退職給付に係る調整累計額	134	233
その他の包括利益累計額合計	2,323	2,850
非支配株主持分	3,363	3,383
純資産合計	78,327	78,112
負債純資産合計	245,980	236,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
売上高	75,066	66,378
売上原価	59,182	50,993
売上総利益	15,883	15,384
販売費及び一般管理費	16,320	15,646
営業損失(△)	△437	△262
営業外収益		
受取利息	7	12
受取配当金	152	108
スクラップ売却益	172	107
持分法による投資利益	116	56
為替差益	—	173
助成金収入	2	200
その他	174	182
営業外収益合計	625	839
営業外費用		
支払利息	120	144
売上割引	217	194
為替差損	176	—
その他	191	112
営業外費用合計	705	451
経常利益又は経常損失(△)	△517	126
特別利益		
固定資産売却益	12	4
投資有価証券売却益	—	148
その他	—	0
特別利益合計	12	153
特別損失		
固定資産売却損	7	3
固定資産除却損	69	60
投資有価証券評価損	616	10
その他	—	1
特別損失合計	692	74
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,197	205
法人税等	417	773
四半期純損失(△)	△1,615	△568
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,649	△603

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年6月1日 至2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年6月1日 至2020年8月31日)
四半期純損失(△)	△1,615	△568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	114
繰延ヘッジ損益	△163	361
為替換算調整勘定	△198	△55
退職給付に係る調整額	59	77
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	23
その他の包括利益合計	△136	520
四半期包括利益	△1,751	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,784	△76
非支配株主に係る四半期包括利益	33	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大収束時期や影響の程度など、先行きの不透明感が強く、その具体的な影響額を合理的に見積もることが困難なことから、現時点で入手可能な外部情報等を踏まえて、2021年5月期の一定期間にわたり当該影響が継続するものとの仮定のもと、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、当第1四半期連結会計期間末時点において、当該見積りに用いた仮定について前連結会計年度末より重要な変更はありません。

今後当該見積りの前提とした条件や仮定に変更が生じた場合、第2四半期連結会計期間以降の連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,533	10,234	8,666	10,601	75,035	30	75,066	—	75,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	933	9,137	17	28	10,117	—	10,117	△10,117	—
計	46,467	19,371	8,684	10,630	85,153	30	85,183	△10,117	75,066
セグメント利益又は 損失(△)	362	334	△314	△775	△392	△32	△425	△12	△437

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△15百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	41,062	7,846	8,533	8,905	66,348	29	66,378	—	66,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	784	8,222	18	10	9,035	—	9,035	△9,035	—
計	41,847	16,069	8,551	8,916	75,383	29	75,413	△9,035	66,378
セグメント利益又は 損失(△)	△16	229	239	△662	△209	△36	△246	△15	△262

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、農業分野事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△15百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△17百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。